

平成27年度 事業報告

当協会は、公益財団法人への移行(H25.4.1)に伴い、「新法人の体制再構築」「がん検診事業」「指定管理受託事業」の3つのあるべき姿について、今後5年間の事業展開のためのガイドラインとしての中期事業計画を作成(H24年度)し、目標の達成のための事業実施計画を作成(H25年度)した。

平成27年度については、中期事業計画の折り返しの年と位置づけ、事業の一部見直しを図るとともに積極的な事業推進を行い、がん検診および健康診査事業については、精度管理向上に努め、健診の重要性を訴えながら、受診者拡大に努めた。また、健康・体力・生きがい事業については、健康の森3施設のもつそれぞれの機能のより一体的活用を進めるため、拠点連携を図りながら、総合的なサービス提供に心がけ、利用者拡大に努めてきた。

具体的には、がん検診事業は、当協会の中核をなす事業であるので、前年度に引き続き受診者拡大に取り組むとともに、県民の健康づくりの推進を図るために「がん検診の重要性」について広く啓発を行ってきた。また、がん患者等へのサポート事業を継続実施していくとともに、「協会」と「健康の森」のイメージアップ事業を実施し、さらに、県民健康センターの健康診査事業をはじめ、けんこうスポーツセンター、生きがい交流センターの指定管理事業を実施しているところは、実施内容や宣伝方法に工夫をこらし、さらなる利用促進を図った。

1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づく、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取り組み、必要な情報の提供等を行った。

(1) 主な中期事業計画の取組み

ア がん検診事業（受診者拡大）（中期事業No.2）

小規模事業所、市町等への受診促進による受診者の拡大を図った。

事業経費 202 千円

- ・小規模事業所等への出前検診 37 事業所 1,170 人
- ・休日レディース検診 17 回 子宮がん 691 人・乳がん 718 人受診
- ・市町大腸がん受診者拡大モデル事業 おおい町 72 人、大野市 126 人

イ がん検診事業（新型車両導入）（中期事業No.11）

女性が受診しやすい環境整備およびイメージアップを図った。

事業経費 1,782 千円

- ・子宮がん検診内診台の設置導入(4月 福井市保健センター)

ウ がん患者サポート事業、がん征圧キャンペーン事業（中期事業No.12, 14）

がん患者とその家族、介護者等の心身の健康と社会生活の支援のための体制づくりと的確なサポートを行った。

事業経費 2,774 千円

- ・がんサロンの定期開設 12 回 43 人、ケア帽子の寄付、患者会間での交流会開催 9/5
- ・ピンクリボン啓発 アオッサライトアップ(10/1,2 ふくいピンクリボンの会共催)

エ がんに関する広報事業（中期事業No.13）

がん検診の重要性・必要性について幅広い広報を行った。

事業経費 2,086 千円

- ・啓発用資材(乳がん自己触診手袋、啓発用ボールペン等)の配布
- ・ショッピングセンター(5/10 エルパ)、県立図書館(2/21)での検診・イベント開催
- ・がん検診ポータルサイト「がんネットふくい」に豆知識コーナー新設

(2) がん検診事業（中期事業 No. 1 他）

がん検診事業は、当協会が実施する集団による胃・大腸・肺・子宮・乳の各がん検診事業、医療機関における胃・大腸・肺・子宮・乳各がん個別検診事業を実施した。また、福井大学医学部産婦人科教室が実施するヒトパピローマウイルス(HPV)併用検診に関する研究への参加協力を行った。

がん検診受診者数は 200,505 人で前年度(193,593 人)と比較して 3.6%の増加となった。

| 項目 | | H27 年度(人) | H26 年度(人) | 比較増減 | 比較増減率(%) | |
|-----|----|-----------|-----------|---------|----------|-------|
| 合計 | 集団 | 地域 | 133,356 | 131,051 | 2,305 | 1.8% |
| | | 職域 | 7,266 | 6,215 | 1,051 | 16.9% |
| | 個別 | 59,883 | 56,327 | 3,556 | 6.3% | |
| 総合計 | | 200,505 | 193,593 | 6,912 | 3.6% | |

(3) がん検診受診勧奨事業（中期事業 No. 3）

県内市町のがん検診の未受診者対象者に電話等で受診の勧奨を実施した。

勧奨数 : 26,063 件 (26 年度 35,159 件)

(4) 健康診査事業(県民健康センター)（中期事業 No. 4 他）

生活習慣病予防を主体とした人間ドックや各種健康診査を実施した。

- ・胃内視鏡受診者対象に必要な応じヘリコバクターピロリ検査開始 検査実施数 298 人
- ・採血バーコードシステムの導入
- ・自宅採尿キットおよび自動尿分析装置(26 年整備)の運用開始

健康診査実施状況

| H27 年度(人) | H26 年度(人) | 比較増減 | 比較増減率(%) |
|-----------|-----------|------|----------|
| 4,928 | 4,969 | -41 | -0.8% |

(5) 無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)（中期事業 No. 7）

一般県民を対象に県民健康センターや生きがい交流センターで健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施した。

利用人数 : 621 人 (26 年度 671 人)

(6) 啓発・キャンペーン事業（中期事業 No. 14 他）

ア がん征圧月間（9/1～30）・結核予防週間（9/24～30）の取組み

他団体や企業との連携協力による、がん征圧月間広告等の掲示依頼やパネル展開催、募金活動、マスコミを利用した広告、広報活動を実施した。

- ・結核予防週間 エルパ街頭啓発（9/27 福井県、福井県健康を守る女性の会 連携）
- ・結核予防会女性の会総会開催（7/24 アオッサ） 他

イ 県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェア等、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力した。

福井市 7/5、越前町 10/24、あわら市 11/28

ウ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動

ふくい健康の森で、9月5日から6日にかけて、がん患者、家族、支援者等で構成されたチームが多数参加し、盛大に開催された。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくい

30 チーム ・ 705 人参加（内 サバイバー140 人）

寄付額 435,432 円

エ 講演会・研修会への講師派遣

市町、企業などが主催する講演会に講師として医師を派遣し、がん検診および健康づくりに関する普及啓発を行った。

- ・医師派遣回数 22 回
- ・あわら市健康講座にて検査技師講演「大腸がん検診の重要性」他技師派遣 1 件
- ・第 45 回日本消化器がん検診学会東海北陸地方会、東海北陸消化器がん検診の会総会開催
平成 27 年 11 月 21 日（土）福井市（アオッサ）

2. 健康づくり・体力づくり・生きがいがづくり推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいがづくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行った。

(1) 主な中期事業計画の取組み

ア 個別運動指導事業（2拠点連携事業）（中期事業No.29）

県民健康センターとスポーツセンターの連携により、受診者の体力づくりと生活習慣病予防を推進した。

事業経費 43 千円

- ・3ヶ月減量講座開催 4期 受講者 186人
- ・動作解析システム機器(H26導入)での市町出張測定 2回 39人

イ 体力づくり教室事業（2拠点連携事業）（中期事業No.31）

生きがい交流センター利用者に簡易体力測定等を行い、スポーツセンター施設機能の周知と運動教室への参加を促し、利用者増を図った。

事業経費 0千円

- ・簡易体力測定 父の日・敬老の日 59人

ウ 利用促進事業（中期事業No.33, 38, 40）

企業、学校等への勧誘および周辺地域への出前宣伝等により利用者の拡大を図った。

事業経費 432 千円

- ・学校等への勧誘、企業の福利厚生への勧誘 団体利用 52件 2,941人 新規契約 1件
- ・周辺地域(社地区敬老会、清水東地区集会)への出前宣伝、回数券販売促進 7回

(2) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業（県民健康センター）（中期事業 No. 5, 6）

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立をめざして、リラクゼーション教室、ヘルシー栄養教室等の健康増進各種教室および地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施した。

- ・健康増進各種教室 258人（26年度 243人）
- ・運動障害回復訓練 3,664人（26年度 3,706人）

(3) 運動プログラム指導事業（けんこうスポーツセンター）（中期事業 No. 29 他）

個人の健康づくりへの支援として、個別運動プログラムの発行、体力テストおよび3か月減量講座等を実施し、きめ細かなアドバイスを行った。

- ・運動実践指導 利用人数：10,879人（26年度 9,064人）

(4) 生きがいがづくり推進事業(生きがい交流センター)（中期事業 No. 39 他）

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいがづくりに取り組めるよう、高齢者いきいきフェアをはじめ、生きがい創作講座、親子チャレンジ講座、文化講座等を開催した。また、ふれあいコンサートや似顔絵展を開催し、利用者にやすらぎの場を提供した。

- ・生きがい創作教室 利用人数：11,078人（26年度 11,228人）

(5) 体力づくり教室事業(けんこうスポーツセンター) (中期事業 No. 30)

様々な年齢や体力に合わせた、エアロビクス、アクアウォーキング、ヨガ等の健康教室および初・中級者向けのテニス教室や水泳教室を開催した。また、利用者ニーズに対応した教室を開催し体力づくりの実践指導を行った。

・体力づくり教室受講者数：63,203人 (26年度 54,111人)

(6) 施設の提供事業(中期事業 No. 4 他)

ア 県民健康センター

健康の増進に関する会議、研修等に会議室等の施設を提供した。

| | H27年度(人) | H26年度(人) | 比較増減 | 比較増減率(%) |
|------------------|----------|----------|------|----------|
| 県民健康センター 会議室・研修室 | 467 | 1,033 | -566 | -54.8% |
| 計 | 467 | 1,033 | -566 | -54.8% |

イ けんこうスポーツセンター

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設を効果的に活用することにより、子供から大人まで幅広い年齢層を対象に、楽しみながら運動を実践できる場を提供した。

利用者は、257,935人で、前年度と比較して2.1%の増加となった。

| | H27年度(人) | H26年度(人) | 比較増減 | 比較増減率(%) |
|--------------------|----------|----------|-------|----------|
| けんこうスポーツセンター・温水プール | 204,835 | 202,158 | 2,677 | 1.3% |
| けんこうスポーツ公園 | 53,100 | 50,400 | 2,700 | 5.4% |
| 計 | 257,935 | 252,558 | 5,377 | 2.1% |

ウ 生きがい交流センター

「健康の森温泉」として、屋内外に季節感を演出したり、入浴に関する情報提供を充実させるなど、独自色をアピールすることにより他の施設との差別化を図り、こころとからだを安らげる場を提供した。また、会議、研修等の場として交流ホール、ふれあい研修室等の施設を提供した。

利用者は、154,360人であり、前年度と比較して4.2%の減少となった。

| | H27年度(人) | H26年度(人) | 比較増減 | 比較増減率(%) |
|--------|----------|----------|--------|----------|
| 健康の森温泉 | 147,217 | 153,954 | -6,737 | -4.4% |
| 交流ホール等 | 7,143 | 7,178 | -35 | -0.5% |
| 計 | 154,360 | 161,132 | -6,772 | -4.2% |

3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行った。

(1) 主な中期事業計画の取組み

ア 健康づくり研究事業（3拠点連携事業）（中期事業No.43）

施設機能を一体的に活用した総合的な健康づくりの推進を図った。（拠点連携の象徴的な事業）

事業経費 0 千円

・3月福井大学・山田講師と打ち合わせを実施

イ 健康フェア開催事業（中期事業No.44）

健康の森の存在をアピールするため、拠点連携による四季を活用したイベントを開催するとともに、報道機関や周辺学校を通じた積極的な広報を行った。

事業経費 722 千円

・健康の森の「桜」と「いちょう」をテーマにした写真募集、施設内展示 49 名応募

・けんもりフェスタの開催 スポーツC：10/25 1,028 人 ・ 生きがいC 3/6 839 人

ウ 広報事業（中期事業No.55）

季刊誌の発行やホームページの随時更新・会員メール配信を行い、組織一体となった迅速で積極的な情報発信を行った。

事業経費 7,324 千円

・テレビ番組作成による啓発 5分間番組×放送10回

(2) 研究・研修事業（中期事業 No. 16 他）

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等を開催し、研究成果を発表した。

・胃・大腸検診研究会 6回 377人（26年度 339人）

他 肺がん検診従事者研修会 3回・258人、マンモグラフィ検診研究会 6回・91人

・日本乳癌検診学会学術総会にて発表 放射線技師1名 他、講義・研究会等 2件

(3) 広報活動（中期事業 No. 55）

ア 情報誌等の発行

“健康の森通信”の内容を充実強化し、健康の森を県民の健康づくりの発信地として情報提供を行い、協会のイメージアップを図った。

・10,000部×4回 発行 各号、児童館・ショッピングセンター・図書館など約400カ所に配布

イ ホームページ・モバイルメール配信による情報提供

ホームページを積極的に活用し、県民への情報サービスの質的アップと協会運営の透明化を図った。

・モバイル会員メール配信 10回 会員数 2,650人

ウ ロゴ・マスコットキャラクターの活用

イベント等で協会のマスコットキャラクターの着ぐるみを活用し、広報活動の充実を図った。

・花と緑の県民運動（県総合グリーンセンター）、テレビ番組など 20回

4. 事業報告附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項：なし